

2024年度春季研究発表大会

3月7日(木)・3月8日(金)

東洋大学 白山キャンパス

研究発表募集中 申し込み締め切り：2月13日



■大会概要(対面形式)

日程 3月7日(木)～3月8日(金)

会場 東洋大学 白山キャンパス

東京都文京区白山5-28-20

<https://www.toyo.ac.jp/about/introducing/access/>

最寄駅：白山駅（都営地下鉄三田線）
徒歩5分／千石駅（都営地下鉄三田線）
徒歩8分／本駒込駅（東京メトロ南北線）
徒歩5分／千駄木駅（東京メトロ千代田線）
徒歩15分

■参加費

	正会員		学生会員		非会員	
	早割	通常	発表者	非発表者	早割	通常
研究発表大会(3/7-8)	15,000円	17,000円	無料*1	5,000円	20,000円	25,000円

・法人会員は一口あたり3名まで正会員料金で参加可能です。

・**2月13日までお支払いの場合には早割り価格**で参加いただけます。支払は、クレジットカード払い(VISA, Master Card, JCB)、請求書払いのいずれかの方法となります。お支払後の返金はできませんのでご了承ください。

・当日欠席される場合でも参加費はお支払いいただきます。また出席者の交代は一切ご遠慮ください。

*1「学生会員」かつ「発表者(第一著者)」に限ります。

■論文募集要項

研究発表大会の発表者(第一著者)は正会員または学生会員であること。詳細情報は、大会公式ウェブサイトをご確認ください。

入会申し込み <https://spm.or.jp/admission/guide/>

大会公式ウェブサイト <https://www.spm.or.jp/committee/2024spring/>

応募方法 **大会ウェブサイトからお申し込みください(2024年2月13日まで)**

・全ての発表者の方は、A区分又はB区分から1つを選択してください。

A区分 … 発表のみ(原稿：2～15ページ)

B区分 … 学会誌への投稿を兼ねる発表(原稿：6～15ページ*)

*掲載時に執筆要領に従った2段組みに編集して頂きます。この際に、10ページを超える論文には超過掲載が請求される場合があります。

・学生が第一著者の場合(共著者は2名まで)、学生発表賞に応募するか否かを選択してください。

学生発表賞応募者は、ネットワーキング内で行われる表彰式(3月7日)に参加する必要があります。

・B区分で発表申込をすると、投稿された論文は、そのまま論文審査委員会による査読付き論文として審査に回されます(再提出の機会はありません)。審査完了前に同じ内容の論文を他学会に投稿したり、他所で発表すると「二重投稿」と呼ばれる重大な違反行為になりますので注意してください。

■論文提出

論文投稿システムによる提出。**フルペーパー2月16日締め切り**(以降は編集不可)

■キーノート



「Society5.0時代のシステムデザインの
特徴」

白坂 成功氏

慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科 教授



「次世代電力ネットワークに向けた日立的
取り組み」

奈加 健次氏

(株)日立製作所 社会ビジネスユニット

社会システム事業部

エネルギーソリューション本部 担当本部長



「エンタープライズ向けアプリケーション
開発の高度化への取り組み」

八木 勝氏

富士通株式会社 執行役員 EVP

グローバルカスタマーサクセス

2024年度春季研究発表大会 キーノート概要

■キーノート1 3月7日 10:00-11:00

※時間は変更になることがあります

「Society5.0時代のシステムデザインの特徴」 ～プロジェクトマネジメントで考慮すべきこと～

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 白坂 成功氏

AI, IoT, 通信などのデジタル技術の進化により、ビジネスだけでなく、社会・産業構造も大きく変革の時期を迎えています。日本政府はそのような社会・産業構造の変化をチャンスとして捉え、Society5.0という名をつけて、日本における新たな産業の創出を目指そうとしています。一方で、Society5.0というデジタルの時代におけるシステムは、これまでのシステムとは異なった特徴をもっており、システムデザインやその実装において考慮しなければいけないことも多いです。本講演では、次世代のプロジェクトマネジメントをおこなう上で考慮すべき点とその考え方について、デジタル技術が創る人間中心の新しい社会であるSociety5.0時代のシステムデザインの特徴や具体的な例を通じてご説明します。



■キーノート2 3月8日 10:00-11:00

「次世代電力ネットワークに向けた日立的取り組み」

㈱日立製作所 社会ビジネスユニット 社会システム事業部
エネルギーソリューション本部 担当本部長 奈加 健次氏

国は東日本大震災以降、電力システム改革を進め、日立はこれを支えるIT/OTシステムの開発を担ってきました。更に国は2050年カーボンニュートラルと脱炭素社会の実現に向け、2021年に第6次エネルギー基本計画を閣議決定し、その実現に向けた施策の具体化を進めています。日立は電力システム改革の対応で得た経験を活用し、この持続可能な社会実現を支えるIT/OTシステムの開発を進めていきます。本講演では、この日立の取り組みと電力システム改革の対応で得た経験についてご紹介します。



■キーノート3 3月8日 13:20-14:20

「エンタープライズ向けアプリケーション開発の高度化への取り組み」

富士通株式会社 執行役員 EVP グローバルカスタマーサクセス 八木 勝氏

企業活動におけるシステム・デジタルの活用は、より重要度を増しています。事業を支えるためのシステム開発・保守は、より複雑化、大規模化するとともにステークホルダーが多くなっており、プロジェクトマネジメントにおける実態把握が難しくなっています。こうした中、日々発生するプロジェクト活動データ(進捗、品質、モチベーションなど)を収集し、プロジェクトリスクを可視化することで、リスクをより早い時点で検知するデータドリブンなプロジェクトマネジメントへの取り組みをご紹介します。また、様々な分野で活用、実践が行われているAIをソフトウェア開発の現場に取り入れ、開発の効率化、省力化へのチャレンジに取り組んでいる事例についても、併せてご紹介をさせていただきます。



大会公式ウェブサイト <https://www.spm.or.jp/committee/2024spring/>

■問い合わせ先 プロジェクトマネジメント学会 行事委員会 spm_conf_communication@spm.or.jp

後援:(予定)

一般社団法人電子情報技術産業協会
一般社団法人情報サービス産業協会
一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会
一般財団法人日本科学技術連盟,
特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

協賛:(予定)

公益社団法人日本経営工学会
公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
一般社団法人日本品質管理学会
日本信頼性学会
一般社団法人経営情報学会
一般社団法人日本設備管理学会
研究・イノベーション学会
公益社団法人土木学会
一般社団法人電気学会
一般社団法人日本機械学会
一般社団法人電子情報通信学会
公益社団法人精密工学会
日本ファンクションポイントユーザ会



IPMA
JAPAN

international
project
management
association

一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 行事委員会 e-mail spm_conf_communication@spm.or.jp